

幸せ実感くまもと4カ年戦略【概要】

策定の趣旨・ねらい(はじめに)

・平成20年に策定した「くまもとの夢4カ年戦略」の成果と課題、本県を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、「県民が幸せを実感できるくまもと」の実現に向けた、本県の取組みの基本方針として策定。
 ・前戦略における「県民幸福量の最大化」の考え方を継承しながら、さらに「県民が幸せを実感できる」よう、今後4年間で重点的に推進する主な施策を明示。

「くまもとの夢4カ年戦略」の成果と課題(第1章)

・これまで「くまもとの夢4カ年戦略」の4分野12戦略のもと、様々な取組みを積極的に展開。
 ・喫緊の課題の「行財政改革」や「川辺川ダム問題」、「水俣病問題」についても、まだ解決すべき課題は残されているものの一定の道筋がつき、着実に前進。
 ・多くの実現が図れた取組み、また成果が形になりつつある取組みや、さらに進めていく必要がある取組みなど、その進捗状況は様々。
 ・本戦略においては、こうした前戦略の成果と課題についての検証を踏まえ、残された課題の解決を図るとともに、その成果をより確かなものとしていく取組みを、引き続き推進。

本県を取り巻く社会情勢(第2章)

人口減少と少子高齢化 世界経済の動きと県内経済の停滞 グローバル化の進展
 東日本大震災後の価値観の転換 ビッグチャンス到来

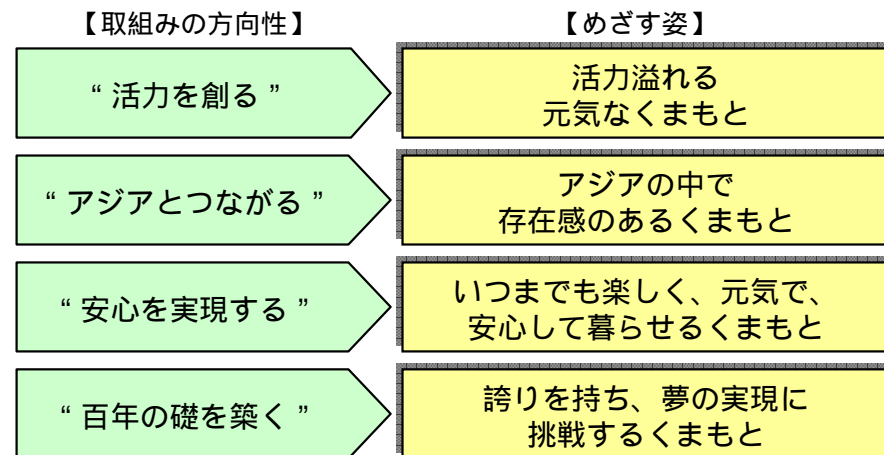
「幸せを実感できるくまもと」の実現に向けて(第3章)

基本目標

「幸せを実感できるくまもと」

県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れる熊本の実現をめざす。

4つの取組みの方向性とめざす姿



川辺川ダム問題・水俣病問題・行財政改革への対応

「幸せを実感できるくまもと」の実現に向けた取組み(第4章)

【戦略1】ビッグチャンスを生かす 産業力の強化 九州の観光拠点化
【戦略2】稼げる農林水産業への挑戦 生産構造の変革と効率化 次世代型産業への挑戦 くまもとブランドの創造・確立
【戦略3】地域力を高める 交流拡大による地域振興 地域の現状やニーズを踏まえた地域振興
【戦略4】未来型エネルギーのトップランナー 新エネルギーの導入の加速化 省エネルギーの推進の強化
【戦略5】アクション・アジア アジアに打って出る アジアから呼び込む
【戦略6】長寿を楽しむ 長寿を楽しむくらしづくり 長寿の安心を実現するための体制づくり
【戦略7】子どもの育ちと若者のチャレンジを応援 子どもの健やかな育ちと子育ての応援 若者のチャレンジの応援
【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本 障がいのある人の暮らしの応援
【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本 一人ひとりが尊重される社会の構築 安全安心な社会の構築
【戦略10】災害に負けない熊本 災害に負けない社会インフラ、ソフト対策の強化
【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 州都をめざした取組みの展開 ハブ機能の強化
【戦略12】悠久の宝の継承 くまもとの歴史・文化の磨き上げ、継承 くまもとの自然・景観の保全・継承
【戦略13】環境を豊かに 生活と自然との共生 県民一人ひとりの環境意識の醸成と環境活動の実践
【戦略14】熊本アカデミズム 世界からの「知」の集積 グローバルな人材の育成
【戦略15】夢を叶える教育 夢を育む教育の推進 夢を拓く教育の展開

活力溢れる
元気なくまもと

アジアの中で
存在感のある
くまもと

いつまでも楽しく、
元気で、安心して
暮らせるくまもと

誇りを持ち、
夢の実現に挑戦する
くまもと

県民幸福量の最大化

幸せを実感できるくまもと

「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」

「幸せ実感くまもと4カ年戦略」の着実な推進に向けて(第5章)

実行性の確保

戦略推進に向けた施策・事業の展開

・戦略として掲げた施策・事業の速やかな具体化のため、「幸せ実感推進枠」(4年間で総額約200億円(一般財源ベース))の財源を確保するとともに、各年度において、本戦略に基づき予算の重点化、効率化を進め、着実に推進。

政策評価と進行管理

・政策評価を活用した、PDCAマネジメントサイクルによる成果重視の県政運営を行う。分かりやすい指標を用いて、その進捗状況を公表。
 ・「幸せを実感できるくまもと」の推進状況を、より分かりやすく評価していくため、「幸福量」を指標化。
 ・戦略の推進状況や県の取組みに対する意見や提案をいただく「幸せ実感くまもと4カ年戦略委員会(仮称)」を設置。

個別計画と一体となった県政推進

・「幸せ実感くまもと4カ年戦略」と、既に県民からの意見を踏まえ、議会の議決などを経て策定された各分野の個別計画とが一体となって、具体的な取組みの展開を図り、県政全体を推進。

地域の視点に立った戦略の展開

・県内どの地域にあっても幸せを実感できるよう、地域の視点に立って戦略を展開。
 ・「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」(ビジョン)(H23.12策定)で示した地域の将来像や取組みの方向性に沿って、それぞれの地域と意見交換等を行い、必要とされる事業の検討やその具体化に取り組む。